

# < 基本動詞 > HAVEの世界

## CORE IMAGE



自分のところに  
何かを持つ(有する)

I have done it.



have から「持つ」をすぐ連想しますが、have のコアは、「自分のところに何かを持つ(有する)」と表現することができます。

「自分のところ」とは、自分の守備範囲あるいは縄張りのようなものだと考えてください。また、ここでいう「何かを持つ」には何かを所有すると、何かを経験する、の2つが含まれます。所有として持つ、と経験として持つ、ということです。

例えば、**have some money** (いくらかお金を持っている)、**have two sisters** (2人の姉妹がいる)、**have a problem** (問題がある)、**have an idea** (アイデアを持っている)、**have brown eyes** (茶色の目をしている)などは、すべて主語が何かを所有する(あるいは所有している)ということで共通しています。



**have some money**

いくらかお金を持っている



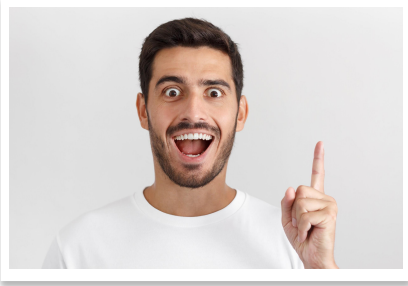
**have** two sisters

2人の姉妹がいる



**have** a problem

問題がある



**have** an idea

アイデアを持っている



**have** brown eyes

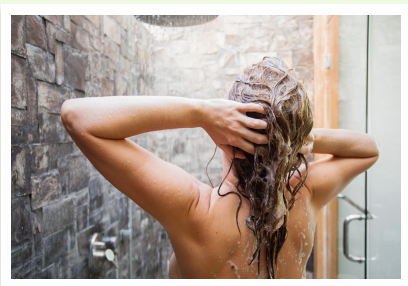
茶色の目をしている

一方、**have a good time** (楽しいときを過ごす)、**have a shower** (シャワーを浴びる)、**have lunch** (昼ごはんを食べる)などは、主語が自分の経験として何かを持つという事例です。



**have** a good time

楽しいときを過ごす



**have** a shower

シャワーを浴びる



**have** lunch

昼ごはんを食べる

さらに、have には **I will have him do it.** (彼にそれをさせる)といった「使役用法」と呼ばれるものがあります。I will have him do it. では have の対象は物ではなく、「彼がそれをする (him do it)」という事柄です。つまり、彼がそれをするのを私がちゃんと所有(確保)するという意味合いがあり、例えば上司が部下に何かをちゃんとやらせるという場合に使われます。



I will **have** him do it.

彼にそれをさせる

have のもう一つの重要な用法に現在完了形があります。I **have done it.** というのがその例です。これは done it (それをした)ということを経験として持っているということから、「それをしたところだ」といった意味になります。She **has been studying English for three years.** では、3年間英語を勉強しているという連続的な状態を彼女が現在の経験として持っていることから「彼女は3年間英語を勉強している」という意味になります。



I **have** done it.

それをしたところだ



She **has** been studying English for three years.

彼女は3年間英語を勉強している

このように、have には語彙的用法と文法的用法がありますが、いずれにせよ、「**自分のところに何かを持つ**」が have のコアです。そして、have の対象にはモノだけでなくコトも含まれ、意味としては「所有として持つ」と「経験として持つ」の2つがあります。現在完了形や使役用法もこの have のコアを通して理解しておくことが大切です。